

2026年3月期 道内20信用金庫（集計）決算

(要 旨)

1. 預金積金および貸出金の状況

- 貸出金残高が増加した一方、預金積金残高は若干の増加にとどまった。

2. 損益の状況

- コア業務純益は、経費が増加する中、利回り上昇による資金利益の増加等を主因に増益となった。
- コア業務純益の増益等から、経常利益および当期純利益とも増益となった。

3. 不良債権(2026年3月末)の状況

- 不良債権比率は、3.25%と前年度末に比べ低下した。なお、保全率は9割超カバーしている。

4. 自己資本比率（2026年3月末）の状況

- 自己資本比率は、18.93%と前年度末に比べ若干上昇した（前年度比+0.18%p）。

以 上

1. 2025年度 決算 主要項目計数

(単位:百万円、%)

	2026年3月期	前年同期比	2025年3月期	前年同期比
預金積金(平残)	8,782,616	0.4	8,746,982	0.4
預金積金(末残)	8,566,401	0.3	8,535,772	0.4
貸出金(平残)	3,572,399	1.9	3,504,586	1.0
貸出金(末残)	3,664,931	2.0	3,592,373	1.4
有価証券(平残)	3,262,118	5.2	3,100,182	7.8
有価証券(末残)	2,938,290	1.8	2,885,823	1.5
経常収益	134,601	25.5	107,184	5.1
業務収益	125,009	20.6	103,632	6.7
経常費用	110,973	16.3	95,382	21.8
業務費用	106,552	19.5	89,112	20.9
経常利益	23,620	100.2	11,793	△ 50.0
業務純益	18,572	27.6	14,546	△ 37.7
実質業務純益	18,953	40.3	13,504	△ 41.8
コア業務純益	34,934	24.1	28,136	6.2
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	33,158	20.4	27,529	5.7
当期純利益	16,896	168.6	6,289	△ 63.6

注)預金積金には、譲渡性預金を含む。

3. 債券等関係損益

(単位:百万円、%)

	2026年3月期	前年差	2025年3月期	前年差
債券等関係損益	△ 10,497	3,655	△ 14,152	△ 26,069

(注)債券等関係損益：国債等債券売却益＋同償還益＋同売却損(△)＋同償還損(△)＋同償却(△)＋株式等売却益＋同売却損(△)＋同償却(△)

4. 信用コスト

(単位:百万円、%)

	2026年3月期	前年差	2025年3月期	前年差
信用コスト	3,730	547	3,183	△ 469.0

(注)信用コスト(△)：一般貸倒引当金繰入額(△)＋個別貸倒引当金繰入額(△)＋貸出金償却(△)＋貸倒引当金戻入益＋償却債権取立益

2. 諸比率・諸利回

(単位:%)

	2026年3月期	2025年3月期	前年差
預貸率(平残)	40.67	40.06	0.61
預貸率(末残)	42.78	42.08	0.70
預証率(平残)	37.14	35.44	1.70
預証率(末残)	34.30	33.80	0.50
有価証券利回	1.05	0.83	0.22
貸出金利回	1.76	1.58	0.18
資金運用利回	1.19	0.97	0.22
預金利回	0.19	0.06	0.13
資金調達利回	0.19	0.06	0.13
経費率	0.71	0.69	0.02
人件費率	0.40	0.39	0.01
物件費率	0.28	0.27	0.01
預金原価率	0.90	0.75	0.15
資金調達原価率	0.91	0.75	0.16
預金貸出金利鞘	0.86	0.83	0.03
総資金利鞘	0.28	0.22	0.06

5. 不良債権比率

(単位:百万円、%)

	信用金庫法及び 金融再生法開示債権額	総与信	不良債権比率
2026年3月末	120,026	3,684,445	3.25
2025年3月末	119,444	3,611,612	3.30

6. 信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況(単体)

(単位:百万円、%)

	債権額	保全額		保全率	引当率	
		担保・保証等	貸倒引当金			
2026年3月末	120,026	108,870	73,336	35,526	90.70	76.08
2025年3月末	119,444	109,416	73,469	35,940	91.60	78.17